

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 2022年2月25日

事業所名 児童デイサービス わくわく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・安静室やパーティションの利用 ・テラスの活用	
	2	職員の配置数は適切である	3	2	・第1・3・5土曜日閉所 ・ドライバー不足(確保)	・実際の配置数は適切だが十分な支援を行う為には難しい日もある ・パートやアルバイトが必要 ・現在は大丈夫だが、一人でもかけると厳しい ・一人かけてしまうと他部署からの応援が必要 ・もう一人非常勤職員がいると助かる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		・段差がない	・今はバリアフリーの配慮の必要な児はいないが整備として整っている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	・研修や説明、指導はしている ・会議の中で行うようにしている	・業務改善に関わる職員に限られる ・いかせているか?いかしているか?は個々のスタッフ次第… ・OJT等も行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・毎日行っており見直ししている	・保護者の意向の把握は出来ているが、業務改善につなげている職員に限られている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		・ホームページで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	・コンサルに入ってもら ・福祉介護サービス相談委員会から評価を受けている	・実際アドバイスや指摘指導をしてもらっていない…
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・休みや時間外でも参加したい人は参加 ・研修は沢山あり個人の意欲に反映される ・社内研修、オンライン研修への参加 ・研修は基本的に自主的に参加	・数少ない職員で業務する為、研修の機会はあるが勤務内では難しい ・個々のスタッフの質の向上への意識の問題であり、今の世の中強制的はできない ・OJT、OFFJTを行っている
適切な支援の場	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	2		・子ども相談センターやクリニックなどの結果を参考にさせてもらう ・現場スタッフでは客観的な分析が難しい ・個々のニーズに合わせたアセスメントへの作り替えが必要である(継続支援を行っている為) ・スタッフ全員で計画を考えたり、作っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3		・標準化されたアセスメントツールの使用が難しい ・あるが使いこなせていない ・利用前のモニタリングで使っているが、その後は各々で変わってくる
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	・イベント等の立案 ・会議で話し合っている	・個人まかせの部分もある ・指示があればできるが率先してやろうとする意識にかける ・積極的な提案ができていない
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2	・イベント内容の変更 ・会議で話し合っている	・行事やボランティア活動はあるが平日は時間的に難しい ・スタッフ個々の工夫の足りなさ ・積極的な提案ができていない ・各自考えてはいるが、発信出来ていなかったり、協力して欲しいことが明確でない為、準備状況や細かな部分の共有が出来ていない
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	4	・子どものしたいこと、子どもにして欲しいことをその都度している	・細やかに設定はできない ・スタッフ個々の工夫の足りなさ ・職員側から提供することが少ない
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		・臨機応変に対応するようにしている	・個別支援計画は作成しているが、スタッフが実際計画に基づいて実践に反映しているかが課題 ・引き継ぎ等で話し合ったことが、現場で活かす機会が多く、スキルアップは必要

<p>児童</p>	15	<p>支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している</p>	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き継ぎの中で考えや対応方法等を共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を伝えるべきかの認識のズレを感じる</li> <li>・毎日引き継ぎを行っている</li> <li>・必要なこと、共有しておくことの認識のズレがあり、報告されていないこともある</li> </ul>
	16	<p>支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している</p>	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気付きにくい職員へ気付ける職員が指導</li> <li>・当日でなくても引き継ぎは行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気付ける職員と気付きにくい職員により共有の難しさを感じる</li> <li>・何を伝えるべきかの認識のズレを感じる</li> <li>・毎日引き継ぎを行っている</li> <li>・必要なこと、共有しておくことの認識のズレがあり、報告されていないこともある</li> <li>・次の日にすることもある</li> <li>・職員の気付きが浅い為、次にどう活かすかというところまで話しがいかず、意識改善は必要。</li> </ul>
	17	<p>日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている</p>	3	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しく記録をとる事の技術の差</li> <li>・記録を書くということもスタッフ個々の意識の問題</li> <li>・職員により記録に書く内容も違い、気付きや疑問を感じているかという意識改善は必要</li> </ul>
	18	<p>定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している</p>	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ等で定期的には出来ていない</li> </ul>
	19	<p>ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている</p>	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインについて理解できていない</li> <li>・会議等でガイドラインの読み返しや重要事項の共有する機会が必要</li> </ul>

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			・コロナで出来ていないが、あればそうだと思う
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		・送迎時に次回の下校時刻の確認を行う ・送迎に送れそうな時は直接連絡を入れる ・お迎えの際には子どものその日の様子を必ず確認する様に行っている	・コロナ感染者が出た等、当日に急なトラブルもあり難しい
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4		・保護者を通しての連絡 ・医師との話し合いへの参加	・今はないがおられたら行すが、受け入れる場合の準備・用意が難しいと思う ・今の所受け入れていないが受け入れる際は整える ・医療的ケアが必要な子どもがいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	4		・該当者なし ・事例がないがそうなればやる ・対象となる子どもがいない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5		・情報共有の為の資料作成 ・必要な資料があれば作成	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		・オンライン研修 ・コロナの影響もあったが、助言や研修を受ける機会は大事だと感じる
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3		・ニーズもない ・地域の公園にて関わりを持つこともある ・地域の公園や法人の子どもと関わることは多少はあるが交流、活動する機会とまではしていない ・コロナの影響もあり、機会がなかった
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5		・区の支援部会への参加	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・送迎時、ノート、LINE等で情報共有を行う	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	・LINEでのやり取りを通してタイミングよく返信ができる	・保護者から相談等あればすぐに対応 ・働いている方も多いので送迎時に助言やアドバイス ・研修の案内をお知らせする ・研修内容の伝達等はあるが、全スタッフが出来るわけではない ・実際に行っていない
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・保護者に分かりやすいように説明の仕方を心がけている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・送迎時、LINE等でデイとして出来る取り組みを伝える ・その都度、職員間でも考え、出来る範囲で支援や助言している	・相談にはその都度応じている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	・年1回の保護者会(コロナの影響で中止もある)	・コロナにて難しいが… ・コロナ等で数年程開催できていない ・コロナの影響もあり、出来ていない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・スタッフで話し合い(原因・状況確認・今後) ・謝罪、再発防止に努める ・職員間で共有し、再発防止策を話し合う ・保護者への謝罪と改善策の報告	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		・月一回会報発行場	

35	個人情報に十分注意している	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ファイルに保管</li> <li>・施錠できる場所に保管</li> <li>・鍵付きロッカーの使用</li> </ul>	
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真、絵カード、マークの活用</li> <li>・視覚的に見てわかるものを活用</li> </ul>	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナで出来ない行事もあった</li> <li>・関係のある方の招待が多数</li> <li>・コロナ等で数年開催出来ていない</li> <li>・イベントに家族や卒業生を招くことはあっても、地域の方を招待することは難しい</li> <li>・博愛社フェスティバルがあるが今年度も中止</li> </ul>

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	・防災委員会の参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続計画、BCPが法人として進められていない</li> <li>・個々のスタッフがちゃんと理解しているかは不明だが質問がないので大丈夫と思いたい…</li> <li>・事業所として独自のマニュアルが必要であり、都度修正を入れていく必要がある</li> <li>・マニュアルとして作成出来ていないものがある</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災委員会の参加</li> <li>・避難訓練の参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の避難訓練への参加にとどまっている</li> <li>・やるように指示すればやるが、全くスタッフ間で定着しない為不安と心配が募る</li> <li>・定期的な避難訓練はokになっているが、救命や防犯(不審者)等に関しては不十分</li> </ul>
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年一回受講したことのないスタッフを優先に参加させている(参加後伝達研修を行う)</li> <li>・今年度はオンラインの為全員視聴する</li> <li>・虐待防止の研修への参加</li> <li>・研修を受けるだけでなく、会議の場でも共有する様にしている</li> </ul>	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・提供しないだけではなく、その食材を使わない等の配慮</li> <li>・アレルギーには注意しておやつを提供している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーの子どもの食事提供はなし、提供するとすれば指示書に基づく対応</li> <li>・保護者から注意等を聞いて対応している</li> </ul>
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・その都度記録に残し共有している	